

令和元年度動物愛護週間事業実施報告

国が定める動物愛護週間（9月20日～26日）には、国、地方自治体、関係団体が協力して動物の愛護に関する普及啓発のための様々な行事を実施している。令和元年度動物愛護週間事業として、浜田保健所では「犬と猫の譲渡会」を開催した。

1. 日時、場所

- (1) 日時 令和元年 10月6日（日） 11時～15時
- (2) 場所 浜田保健所 1階 玄関ポーチ、ロビー
(浜田市片庭町254番地)

2. 主催等

- (1) 主催 島根県浜田保健所
- (2) 後援・協力 江津市、浜田市、浜田動物愛護会マール、島根県獣医師会浜田支部
- (3) 参加者 浜田保健所 5名
動物譲渡等の参加者 13名
開業獣医師 1名
見学者 1名

3. 来場者数 321人

4. 事業実施内容

(1) 譲渡会

事前申し込まれた参加者（以後、「参加者」と呼称）13名の保護犬猫（犬1頭、猫19頭）、保健所の譲渡犬猫（犬1頭、猫1頭）を場内に展示した。各犬猫の譲渡については、参加者と来場者として個別に交渉する形態を取った。

閉会時点で犬猫に数件の譲渡申込があった。後日、参加猫5頭が正式譲渡され、同じく参加猫1頭がトライアルを実施している（2019.10.30時点）。保健所収容犬1頭もトライアルの後に正式譲渡された。

(2) 健康相談窓口

島根県獣医師会浜田支部より開業獣医師1名を招聘し、ペットの健康相談窓口を設けたが、当日の利用者は5組に留まった。

(3) 名札作り、絵本作り、満点飼い主チェック

登録ボランティアの企画・運営により、名札作りと絵本作りのコーナー設置と来場者への満点飼い主チェックが実施された。

名札作りと絵本作りのコーナーには親子連れが多く立ち寄った。

また、満点飼い主チェックでは来場した犬飼い主27名、猫飼い主40名のうち、飼い主9名（犬：4名、猫：5名）が満点を記録した。

(4) 動画上映

登録ボランティアの発案により、適正使用を訴える動画4本の上映を実施。上映スペースでは視聴する来場者が散見された。上映内容は下表を参照のこと。

No.	上映プログラム
1	「しっぺくださいぼくたちのこと」～ぼくらはみんないきている～
2	「ある犬のおはなし」
3	「おかあさんのそばがすき」
4	「ペットショップにいくまえに」

(5) 掲示

保健所の譲渡事業とボランティアとの関わりを周知すると共に、災害時を含めた適性飼養普及の必要性を多くの方へ知ってもらうための掲示を行った。展示物の内容は下表、及び別紙1の会場写真を参照のこと。

加えて、県央保健所の譲渡犬1頭のパネル展示も実施したところ、後日の譲渡に結びついた。

No.	展示物	詳細
1	保健所からの動物譲渡	保健所の譲渡事業の解説と推進状況を掲載。
2	登録ボランティア譲渡制度って何？	制度概要、申込方法、譲渡実績を掲載。
3	飼い主様募集中の犬と猫	浜田保健所、県央保健所の譲渡対象動物を紹介。
4	猫の正しい飼い方	環境省、保健所作成のパネルを掲示。
5	災害時に備えるペットの飼い方	熊本震災時のデータを元にした、避難対策を解説。

(2) その他の実施事項

来場者に対するアンケートを実施し、協力いただいた来場者70組からアンケートを回収した。集計結果は別紙2-1のとおり。

また、譲渡犬猫を連れての参加者11名、見学者1名からもアンケートを回収、集計した。集計結果は別紙2-2のとおり。

5. 来場者、参加者の反応

参加者、来場者ともに動物や愛護活動への関心をお持ちで、口頭やアンケートで様々な意見をいただいた。

来場者、参加者の多くがこれまで多用してきた市報・チラシだけでなく、インターネット・SNS 掲載、友人・知人からの口コミにより来場した。数値で見える以上に、これらの情報拡散が来場者数の増加に今回大きく貢献した可能性がある。今後も拡散手段としては重要度が高いと思われる。

譲渡会の運営（職員対応、場所、開催時間）については、来場者・参加者共に概ね良好な反応だった。今後の譲渡会開催への期待、会場案内や展示の改善に関する具体的な指摘、保健所業務への応援も意見として寄せられた。

また、当日は開始時間前～開始後 1 時間ほどに来場者が集中し、会場が非常に混雑したが、参加者・職員らの的確な誘導も有り、大きな混乱や事故等もなく無事に閉会することが出来た。

6. まとめ

「犬と猫の譲渡会」は浜田保健所では初めてとなる試みであったが、事前の予想を大きく超える参加者数と来場者数を記録した。会場が非常に混雑することとなったが、事故や混乱無く無事に閉会することが出来た。アンケート等で改善の指摘はあれども、運営への大きな不満は見られず、初回としては大成功といえる成果を挙げられた。

計 6 頭の犬猫が本会での問い合わせにより後日に正式譲渡され、積極的な譲渡推進と愛護精神の掲揚に繋がった。また、参加者からは次回実施への期待も大きく、来年度以降の動物愛護週間事業でも譲渡会の実施を検討したい。

なお、来場者に動物の飼い主や動物に関心を持つ住民が比較的多いためか、譲渡ブース観覧の前後で、保健所の譲渡事業や適切飼養の普及啓発のために設置したパネルを閲覧し、保健所職員に質問する住民も散見された。今回の動画上映や掲示を通して伝えたことが浜田保健所管内に少しずつでも浸透するよう、今後も地道に啓発活動を継続したい。

最後に、来場者でアンケートにご協力いただいた方は来場者全体の 4 分の 1 未満に留まったので、回収率の向上が次回への課題である。

住民方からのご意見やご要望をもとに、浜田保健所では今後も動物の適切飼養と愛護精神の普及に努め、動物と人が共生できるよりよい社会づくりを目指します。

令和元年 10 月 30 日

島根県浜田保健所